



# 農業保険実施能力向上プロジェクト ニュースレター

2020年7月発行

## 今月のニュース

プロジェクト開始から2年半、予定の半分が経過しました。JICAは2月中旬に中間評価を行い、今までのまとめとこれからの方針について関係機関と討議し、JCC（合同調整委員会）で合意しました。



2020年2月19日 10:35

JCC開催の様子



2020年2月19日 12:32

## NEWS

## 中間評価とこれからの活動

プロジェクトでは農業保険の実施と能力強化を目指して、研修や調査を行ってきました。今回はその成果を共有し、さらに指標の見直しなどを行いプロジェクトの内容を一部修正し、活動計画を立てなおしました。

### プロジェクト後半の計画

プロジェクト後半では、1. 多くの機関が関わる農業保険に対して意思決定機関の設立を推進し、より円滑な意思決定と実施に結びつけること、2. 現行のコメに対する農業保険であるAUTPが周知、実施されるように対象地域（東ジャワ州と西スラウェシ州）での人材育成を行っていくこと、3. 新しい試みである収量インデックス保険を西ジャワ州で試行することが決定しています。



### BMKGによる乾季予報会議

BMKG（気象気候地球物理庁）は、2月25日から4日間にわたって乾季予報会議を開催しました。JICAの短期専門家として、気象業務支援センターから栗原専門家が参加し、日本での季節予報の様子や当プロジェクトの紹介を行いました。

### プロジェクト メンバー紹介 プロジェクトディレクター



Dr. Ir. Arifin Rudiyanto, MSc  
(アリフィン ルディヤント氏)  
海洋・天然資源担当次官

### プロジェクトマネージャー



Ir. R. Anang Noegroho  
Setyo Moeljono, MEM  
(アナン ヌグロホ  
ステイオ ムリオノ氏)  
食料・農業局長